

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた、事業所独自の理念の作成。	事業所独自の理念を作成して、事業所内に掲示し、グループホームとしての役割りや姿勢を確認するとともに、職員全員で共有し、入居者様の生活の質の向上に生かせるようにする。	日々のケアに対する心構え、地域密着型サービスとしての運営方針等を、具体的な分かりやすい言葉で表現し、入居者様、ご家族、来訪者の方々に見やすい場所に掲示して実践に活かしていく。	6ヶ月
2	35	毎年実施している火災訓練の中で、グループホームの内部を災害発生場所に想定した訓練の実施。	同一建物の他事業所と協力、連携して、非常時においてもケアが継続的に提供できるようにする。	実際に災害が起きた場合でも、安全に落ち着いて対応できるよう、毎年、具体的な想定のもと、年2回の訓練を実施する。	12ヶ月
3	2	重度化や終末期における対応を可能にするため環境整備、職員教育、家族の意向確認。	利用者様、ご家族の希望に応じて、重度化した場合や終末期においても入居を継続していただき、適切な対応ができるようにする。	・看取りを行なう為、協力病院や訪問看護との調整。 ・マニュアルの作成、職員の勉強会の実施。 ・ご家族と話し合いを持ったうえで方針を共有し、意向確認書(同意書)を作成する。	12ヶ月
4	14	25年度、自事業所の発案で他事業所との交流会を開催したが、ネットワーク構築には至っていない。今後も同業者との交流を通じた情報交換、相互のケアの向上、ネットワークづくりを進めたい。	・他のグループホームと定期的に情報交換の場が持てるようにしたい。 ・グループホーム間の利用者相互訪問、交流の機会が持てるようにしたい。	・定例で管理者、職員が集まり情報交換できるように、市内のグループホームに呼びかける。 ・保険者にも協力を求め、市内のグループホームが集ま、話し合い、情報交換の場が持てるよう調整を行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。